

わかば通信

VOL.18

社会福祉法人 能登福祉会

〒926-0014 石川県七尾市矢田町22号七株田12番地5
TEL.0767-53-8700(代表) FAX.0767-53-8715

URL:<http://www.homewakaba.com>

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291



若葉グループ野球部のその後

わかば通信15号で紹介しました、若葉グループの野球部ですが昨年行われた、第30回記念大会全国社会福祉軟式野球大会北陸ブロック予選において初出場で準優勝致しました。

今年の第32回全国社会福祉軟式野球大会北陸ブロックでは残念ながら2回戦敗退しました。

現在は来年の大会に向け、七尾や津幡で一生涯懸命練習を行っています。

また、今後は野球だけに限らず、ボランティア活動や地域交流にも参加していく予定です。

「医療機関との連携強化」

居宅介護支援事業所あっとほーむ若葉では医療機関との連携強化に取り組んでおります。

利用者さんの在宅生活を支える上で、必要なサービスを継続的・一体的に提供する為に、医療と介護の連携は必要不可欠です。

ケアマネジャーが医師に対してどのようなことを思っているのか、また反対に、医師はどのようなことをケアマネジャーに対して望んでいるのかを相互に確認し、それを元にスムーズに連携を行うためのシステムづくりを行っています。

◎ケアマネジャーの本音

- ・医師は忙しいのでどうしても連絡を控えてしまう。
- ・医療専門用語が多く説明されても理解できない場合がある。
- ・医師の中には自分の患者さんが介護保険を利用していることを知らない人もいる。
- ・個人の診療所などは医療ソーシャルワーカーがいないので連絡が取りづらい。
- ・医療現場において、介護保険の仕組みを理解してもらえない場合がある。

◎医師からの声

- ・医師の敷居を必要以上に高いと思っている方が多い。
- ・ケアマネジャーとして担当になったのなら医師に連絡をしてほしい。
- ・入浴許可やリハビリ実施確認等を求められる事があるが、月に1回の診察だけでは状態に関する指示を与えることは難しい。
- ・ケアプランを作成したら情報をいただくと助かる。
- ・ケアマネジャーとの連携は本人のためにも必要であり、もっと連携をしていきたい。
- ・ケアマネジャーにはもっと医療的知識をもってほしい。
- ・訪問看護を選ぶ際には主治医にも相談してほしい。

以上のことから、連携や相談方法を検討し、ケースに応じて次の事を行っています。

- 利用者さんの受診に同行
- 医師の往診時間にあわせて訪問
- 事前に連絡し外来終了後に訪問
- 病院の医療ソーシャルワーカーに連絡し、情報交換
- FAXにて意見交換

その他、介護保険の更新について主治医意見書の作成を依頼、介護認定結果の報告とサービス担当者会議への参加依頼もしくは主治医の意見を確認し、ケアプランに反映しています。

また、医療ニーズの高い利用者さんのプラン作成のために、定期的に事例検討会を開催しています。

また、利用者さんが入院された時には、「入院時情報提供書」を入院先の医療ソーシャルワーカーにお渡しし、在宅生活の様子を病院側にお伝えしています。退院時には安心して自宅で過ごせるように必要なサービス調整（デイサービスやショートステイ、福祉用具等）を行っています。



【居宅介護支援事業所とは】

都道府県の指定を受けて、ケアマネジャー（介護支援専門員）を配置しているサービス事業所のことです。利用者さんが最適な介護サービスを受けられるよう、相談を受けたり、介護サービス提供事業者と調整を図ったりする、在宅介護の拠点となる事業者です。

私たち、あっとほーむ若葉では7人のケアマネジャーが主に七尾市在住の約200名の支援をさせて頂いています。

趣味の合う仲間との時間

交流の場づくり

養護老人ホームでは、クラブ活動に新たに5つのクラブを加え、入居者の皆様から好評を頂いています。

新たに始動したクラブは、お茶会、手芸、マージャン、将棋、オセロです。

毎月、皆様との対話の場として開催している懇談会で提案させて頂き、希望が多い趣味をラインアップしました。

特に、マージャンは以前から希望される声が多く、待望のクラブ化です。

またこれらのクラブは、利用者さんが自身で行える趣味の時間を充実させる目的も持っており、手軽に実施できる活動です。

受け身で参加する従来のクラブに、自主的に活動できるクラブをプラスして、選択の幅を広げました。

新しいクラブでは、利用者さんが中心となって積極的に道具の準備から片付までをしています。共通の趣味を持つ利用者さんが集まることで、ふれあいが生まれ、仲間の輪が広がっています。

趣味を通じた会話は明るく楽しくて、隣人との交流の楽しみも増えることにより生活にも生まれれます。

オセロを楽しんでいる利用者さんにお話を聞

きました。



「私は出たところ勝負だけど、この人(オセロのお相手)は時間を掛けて次の手を考えるタイプやわ。性格によって手法が違って面白いわ」

将棋をされていた方は、「将棋もしに来たが、みんなの顔を見に来たんや」

先日、利用者さんに新しいクラブ活動へのアンケートを行いました。

・生活に変化や楽しみができた

・時間を忘れて楽しめる

・好きなことに参加できるのが楽しい

・昔やっていたが、思い出して楽しい

・皆で集まることができ、満足

と、積極的な意見が多くあり、余暇活動への満足度も向上しました。

今では、趣味の仲間が連れ添って、ホールにある喫茶コーナーで、コーヒーを楽しむ姿を毎日のように拝見します。

趣味の活動は、利用者さん同士を結ぶふれあいの場として、大きな和となっています。



手芸



お茶会



将棋



あつとほーむイースト アクティビティの取り組み

平成25年
4月からアク
ティビティの
取り組みを深
めて以来、少
ずつではあ
りますが、利
用者さんのご
希望や支援計
画に沿った活
動の提供を進
めています。



6月からは、毎月東湊小学校の皆さんとふれあひ交流を重ねました。

学校に行き、様々な学年の児童達といろんなゲームやお話、習字などをして楽しみ、子供達からたくさん元気をもりました。

「昔の遊び」も取り入れ、着せ替え人形遊びなども行い、「昔は姉妹で取り合いでしたが、こんな年になっても楽しいわ。」と喜ばれていました。また、園芸も行っています。テラスに花壇を作り、愛情込めて育てた風船かずらなどの花の開花や種の採取で栽培の楽しみを一緒に感じました。

その他にもカラオケコーナーを作って歌唱をしたり、パチンコ機を導入し遊戯も行っています。



あつとほーむイースト 介護教室

先日、あつとほーむイーストで介護教室を開催しました。

利用者さんのご家族や地域の方々を対象に行っており、今回は「感染症と「口腔ケア」をテーマに、冬期に発生が予想される感染症について介護教室を行いました。

職員より、感染症の基本的知識の説明や予防策などを説明し、口腔ケアでは口の中のケアの大切さ、それによる効果についてお話をさせて頂きました。参加された皆さんは真剣に聞いておられました。

利用者さんのご家族から、日頃の自宅での介護で分からないことや困っていることなど話し合つことができて良かったというお声を頂きました。また職員も、ご家族の目線での考え方を聞くことができる良い機会であり、今後の介護に活かしていきたいと思えます。

これからも皆様に介護のことを少しでも知って頂くように分かりやすく、楽しい介護教室にしていきたいと思えます。



あつとほーむじもど お誕生日献立



はこの年になっても誕生日を祝ってくれるなんて嬉しい」と大好評です。

お誕生日献立に本人さんのお好きな「焼き肉料理を召し上がったいただきました。

中には「ありがと」と言っていて涙を流して喜んでくださった方もいらっしゃいました。

これからも利用者さんのご希望を聞きながら、献立を考えていきたいと思っております。



あつとほーむじもど
の栄養チームでは平成25年6月より、利用者さんのお誕生日に、好きな食べ物をお聞きして誕生日メニューとしてお出ししています。
利用者さんから



あつとほーむじもど
を利用されている阿部さんは、福岡県のご出身です。

福岡県のご出身ですか？

門司なんよ。いろいろ苦労したわ。

私は6歳の時に両親を亡くしてね。それで、尋常小学校には両親が亡くなるまでの3日間しか通えなかったんよ。当時は戦争の真っ只中やったし、私以外にも両親を亡くしたり、学校に通えない子はたくさんあったんよ。

ふじた先生という先生がおってね。最後の日に



阿部シゲ子様

海辺に連れて行ってくれて、途中「ひえだ」っていうお饅頭屋さんで太鼓饅頭を買ってくれたんよ。ふじた先生と半分こして食べたあのお饅頭の味は、一生忘れられんわ。

門司での幼少期の思い出を聞かせたいですね。

イチジクが大好きでね。

川辺に大きなイチジクの木があって、その木によじ登って川ぎりぎりまで進んだ所で、川の中にポチョーンと落ちてねえ(笑)。落ちてもちゃんイチジクは手につかんどったよ。

引き取られた家では食事を十分もらえなくて、近所の優しいおばさんがエプロンの下におにぎりやご飯をそっと隠して持ってきて来て、「食べなや」とくれたのが嬉しかった。

辛いことや悲しいことはいっぱいあったけど、近所の年上の人達が集まる場に行つていろんなお話を聞いたりするのが好きでね。

自分も苦労しているけど、もっと苦労している人もいるし自分は幸せやと思ってね。逆に幸せな人をねたむ事はしないようにしたんよ。一緒に幸せを喜べる人になりたいと思って一緒に喜んでいたいよ。

当時の事を思い出すと阿部さんの目には涙があふれていました。お話ししていただきありがとうございます。

ボランティア通信 あつとほーもコミュニティ

当法人で活躍されている
ボランティアさんの紹介

★養護老人ホームで活動されている

大谷美智子さん、土本雅美さん

お二人には「繕いボランティア」として衣類のお直しをお願いします。名前付けや綻び直しなど丁寧に仕上げてくださいるのでたいへん助かっています。また「喫茶ボランティア」として、うたごえサロンで利用者さんと一緒に歌ったり、おいしいコーヒーを用意してくださいます。とても人気で皆さん心待ちにしていらっしゃいます。

大谷さん：きちんと直した衣類を着てもらおうと、気持ちもシャんとするつもりに思っています。元気で張りのある生活を送っていたら嬉しいですね。

土本さん：大事に着ていらっしやるものなので丁寧な仕上がりを心がけています。喜んでいただけますように。



★コモドで活躍される

光圓寺 長沢豊磨 住職

毎月1回、コモドへ地元山崎町、光圓寺の長沢豊磨住職に法話の会にお越し頂いています。仏教の話や、自身の教師時代の話など利用者の方々も手を合わせ聞く方や、目を閉じうなずきながら聞く方など、大変喜んでいただける行事の一つとなっています。

長沢住職：

「はじめは私も何を話しているか、みなさんに喜ばれるか心配でしたが、今では皆さんの顔を見るのが楽しみで、法話の会の日には、妻から玄関で叱咤激励を受けコモドへ来ています。元気なうちは続けたい。」



利用者さんによるボランティア活動 ラベンダー畑とポプリ作り

養護老人ホームの利用者さんが、デイサービスセンターでのポプリ作りと石鹸作りのイベント準備のためにボランティアをしてくださいました。

手伝ってくださったのは、ラベンダーの栽培と、ポプリのサシエ(布袋用の巾着作り)です。

畑では、土に触れる事が好きな方、草むしりが好きな方、お花が好きな有志の皆さまが草むしり、種植え、水遣り、収穫までを手伝ってくださいました。

栽培は5月に始め



ました。種の撒き方が浅く、多くをスズメにつ
いばまれ、また、砂地で水に流れやすい土のせ
いで思うように育たず、利用者さんと共に毎日
のように心配しました。しかし、皆さんの愛情
と手入れのおかげで、秋には少量ですが薄紫色
のかわいらしい花が開花しました。



「裁縫は、何も考えずに集中できる
から楽しいよ。」

収穫したラベンダーは乾燥し、あっとほーむ
ウエストで育て
たラベンダーと
あわせて利用し
ました。

また、ポプリ
の入れ物となる
サシエ作りは、
かつて洋裁を

習っていた洋裁女子の皆さまです。
三角錐の形でしたが、次々に素早く縫って、
ご自分の余り生地を使って仕上げてくださいる方
もいらっしやいました。

ウエストの石
鯨とポプリ作り
のイベントで
は、ご家族や地
域の方にも参加
頂き、一爽やか
な香りやね。筆
筒や下駄箱に入
ればいいね。」
と、とても好評
を頂きました。



デイサービスの皆さんが乾燥したハーブにアロマ
オイルを加えて仕上げたポプリと石鯨

ボランティアに来てくださりありがとうございました。

歌・演奏・踊り

- ・鹿島日舞会様
- ・七尾民謡会様
- ・よつば保育園獅子舞様
- ・和倉公民館大正琴様
- ・ひばりカラオケ会様
- ・角谷晋平様
- ・細流会様
- ・大吞保育園園児様
- ・東部中学吹奏楽部様
- ・たんぼぼの会様
- ・にこにこ一座様
- ・川向美加様

レクリエーション

- ・生涯学習インストラクターの会様
- ・天神山小学校2・4年生様
- ・マジック123様

裁縫・シーツ交換

- ・エナジー若葉様
- ・大谷美智子様
- ・土本雅美様

お化粧

- ・多幡千尋様

傾聴

- ・東湊福祉推進委員様
- ・飯田真理子様
- ・松谷みどり様

生け花

- ・狭間智子様
- ・沢味スミ子様
- ・成田孝子様

整容・整頓

- ・福田恵子様

絵手紙・習字

- ・山本由紀子様

〔平成25年10月1日〜〕

平成26年3月31日まで

能登福祉会ではボランティア
を募集しています。ご興味のある
方は各施設までお問い合わせ
ください。



わんこ巡り

番外編 第10弾

今回ご紹介するのは、養護老人ホーム 中村雅江主任
の愛犬アリスちゃんと、愛猫チャチャ君です。



チャチャ君

お腹が空くと、「ごはん」と
鳴いてくれます。親バカで
すかね…。とても可愛く家
の中での甘えんぼさん。

プロフィール

?猫・男の子・年齢7歳
オカマちゃん(;-;)
おねえ猫さんであります。



アリスちゃん

プロフィール

ラブラドル・レトリバー
女の子・年齢12歳

庭で過ごしているアリス
ちゃん。全く吠えない番
犬にならないダメ犬ちゃ
ん。でも、見つめられる
と癒されます。

福祉車両出発式!

昨年、日本財団からの助成金を受け、ヘルパー車を配備しました。理事長より「より良いケアに努めるように。」と言葉があり、サービス担当者任者に車のキーと交通安全お守りが渡されました。

サービス担当者より「安全運転に心がけ、利用者



さまの訪問の為に大切に使用させて頂きます。」と決意表明がありました。

また、デイサービスセンターあつとほーむウエストには、公益社団法人JKKAから助成金を受け、リフト付10人乗り福祉車両を導入しました。



貴重なご意見をありがとうございます。

《担当訪問看護とご家族より》

ショートステイから帰ってきて荷物を確認すると、持って行った経管栄養剤と水分がいつもより多く余っていた。以前にも、残っていたことがあり、説明をしてほしい。

【改善結果】

今回利用の際に、前回利用時に残っていた栄養剤と一緒にカバンに入っていたため、退所時の栄養剤の残りが多くなったことを説明しました。

今後は、経管栄養剤を持ち込みではなく施設から提供し、また経管栄養剤の注入記録をお知らせする事としました。ご家族は、持ち

込みの時間が省け、記録も確認できるので喜んでくださいました。

《ご家族より》

髪の毛をあんまり切っていないのに、散髪代を払うなんて、こんなんやったら自分が切った方がよい。

【改善結果】

ご家族より、誰でも良いから早く切って欲しいとの要望があり、職員が散髪した。ご家族には料金がかかっていない事を説明し、今後は、要望があっても職員での散髪は行わず、お急ぎの場合は、床屋の外支援助を考慮していく事を説明させていただきました。

ご寄付頂きありがとうございます。

福祉の向上に心温まるご芳志をありがとうございました。
 ・JA能登わかば女性部様
 ・エナジー若葉様
 ・西川 雅信様
 ・高松 保晴様
 ・金森 清明様
 ・土倉紀代子様
 ・澤味 貞子様
 ・宮本 精一様

〔平成25年10月〕

平成26年3月末まで
 利用者さんの為になるように使用させていただきます。
 皆様の温かい善意に感謝申し上げます。
 (順不同)

編集後記

18号は、わかば通信が始まってから初めての衣装替えです。手に取ってもらいたい大きさ、親しみやすさを追求しました。気持ちが届くように、皆様にお手紙を書くつもりでこれからも記事を作っていきたいと思います。今後、新しい内容にもチャレンジしていきたいと思っております。

★広報委員★

小山 真季	今田 京子
松本 学	久世 泉
奥村 有紀	田中 優子
桜井 敦子	宮崎 愛
扇 達哉	中川 清美

